

道端に雪が残り外を吹く風がまだ冷たくても、陽射しの暖かさに春の訪れを感じる頃になりましたね。大学はいよいよ新学期の始まりです。新生も在生も、年度始めは予定がいろいろ入るとき・・・忘れていた事が無いか一つ一つ確認しながら行きたいですね。

「ウェブスター・グロウプス・ホール」とともに



学生支援課 実習事務担当課長 川原靖彦



北星学園大学の中で背の小さな職員を見つけたらそれが私である。こんな小さな体でも高校2年生時に全国高校ラグビー大会に出場したことがあり「本大会、最も小さい選手」として紹介されたこともある。今は単なる「ちっちゃいおじさん」である。

大学入学当時、北星学園大学にはラグビー部がなく、学生課に相談すると、ある先輩を紹介された。『北星学園大学では過去にラグビー部ができた、なくなったりしているが、本気でラグビー部を作りたいなら俺たちで作ろうじゃないか!!!』と先輩は熱く語った。先輩の紹介で顧問の先生も決まり、「ラグビー愛好会」からスタートすることになった。

当初は人数も少なく9人制のラグビー大会に出場しながら実績をあげていった。1年後、「同好会」になり後輩も増え公式戦にも参加できるようになった。3年目にサークル活動が評価され「部」に昇格した頃、念願の部室(大きめ)をゲット。創立時には部室もなく自習室でミーティングをしていたものだ。

図書館が建つ前、あのあたり一面芝生で、チャペルの横の芝生が私たちの練習場だった。このチャペルは1964年、アメリカ合衆国ミズリー州セント・ルイスのウェブスター・グロウプス長老派教会より寄付を受けたものだ。(1) 私たちの入学式はこのチャペルでおこなわれていた。チャペルでおこなう入学式はとても神聖な雰囲気だった。父の勧めで北星学園大学に進学したものだから入学式では大変喜んでくれた。今でも「ウェブスター・グロウプス・ホール」に入るたび、同じ空間で父とともに入学式を体験したことを思い出す。そんな父も昨年、72歳という若さで逝った。北星で学べたことを今でも父に感謝している。

北星学園大学で繋がった多くの友人たちとの輪が今では私の大きな財産となっている。



大学生活はあっという間です。これから大学生活を送る新生には、ほんの小さな出会いも大切にしたいです。北星には北星らしいさまざまな活動の場があるので貴重な体験を得られると思います。生涯続くような多くの友人ができることを祈ります。

また、自分を見つめることのできるチャペルもぜひ利用してはいかがでしょうか。「ウェブスター・グロウプス・ホール」とともに多くの先輩たちがみなさんの活動を見守っています。



(1) 北星学園百年史 通史篇 1990年7月31日発行 編集：北星学園百年史刊行委員会

p.636 参照 [372.115 H-1]



学生相談室ってどんなところ？

学生生活における様々な悩み、問題について一緒に考える場所です。それは自分自身のこと、人との関係のこと、学業や進路のこと、他、何でも構いません。相談スタッフは、専任カウンセラー（近田）と相談員3名（安部・小林・白坂）です。また相談室には相談のための部屋の他にオープンスペースがあり、相談を利用していない学生さんでも、静かに過ごしたい、1人で過ごしたいときに利用できますので、こちらは好きなときに利用しにいらしてください。

でも、初めて利用するとき、ちょっと勇気が必要と言う学生さんもいるでしょう。「相談に行ってみたい・部屋を利用したいけど、でも…」と迷うときは、大学HP内、学生相談室のところをご覧ください。

[＜ 大学HP → CAMPUS GUID WEB → 悩み事・相談・Q&A ＞](#)

各スタッフのひと言や相談室内を写した写真などが載っていますので、部屋の様子や雰囲気、少しは感じていただけるかなと思います。また、月毎の相談室開室日と担当者も載せていますので、既に利用されている学生さんも自分の担当者在室日を確認するためにどうぞ利用して下さい。



相談方法

直接来室するか、事前に、下記の直通電話またはEメールで予約もできます。学部生、大学院生、科目等履修生など本学の学生であればどなたでも利用できます。休学中の方も利用可能です。



相談室の開室時間

月	火	水	木	金
近田	近田	近田	近田	小林
白坂	安部	小林	安部	白坂

月曜日～金曜日 9:00～17:00

相談スタッフは2名体制

編集後記

春先は暖かい日と肌寒い日の繰り返しで、季節の変わり目は体調を崩しやすいとき。日々のことと身体の疲れを貯めないように、上手に休養をとりながらいきましょう。（白）

〒004-863

札幌市厚別区大谷地西2-3-1

北星学園大学 北星学園大学短期大学部

学生相談室

直通Tel & FAX 011-891-3929

